

(トップページ: <http://mylibrary.maeda1.jp/>)

(ブログ「石油と中東」: https://blog.goo.ne.jp/maedatakayuki_1943)

マイライブラリー:0549

(注)本稿は2021年11月26日から12月3日まで4回に分けて「ブログ・石油と中東」に掲載したレポートをまとめたものです。

2021.12.5
前田 高行

国際石油企業5社、アラムコ及び ENEOS/出光興産の2021年7-9月期業績を比較する

はじめに

国際石油企業(ExxonMobil、Shell、bp、TotalEnergies 及び Chevron、以下 IOC)の7-9月期決算については既に概要を解説したが¹、本稿ではこれに加え世界最大の国営石油会社サウジアラムコ(以下アラムコ)及び日本国内1位、2位の石油企業 ENEOSホールディングス(以下 ENEOS)と出光興産(以下 出光)の計8社の2021年7-9月期売上高、純利益、売上高利益率を比較する。

IOC とアラムコ及び日本企業2社は経営形態、事業内容等がそれぞれ大きく異なっており、単純比較することに問題があるとの指摘はあろうが、そのことを踏まえたうえで世界の石油企業の現状を理解する一助としていただければ幸いである。8社の決算書類における売上、純利益の表現形式も各社各様であるが、それらについては脚注で説明している。

なお ENEOS 及び出光2社の2022年3月期第2四半期決算書類は4-9月の6か月間であり、IOC あるいはアラムコの7-9月四半期決算と対応期間が異なる。このため ENEOS 及び出光については第1四半期(4-6月)決算と第2四半期(4-9月)決算の差額を7-9月の数値として比較している。また通貨については日本企業2社の決算は円建てであるため、各社の決算付属資料に示されている為替レートで換算したドル建て表示で比較した。

8社の詳細な決算資料は下記の各社ホームページをご覧いただきたい。

ExxonMobil:

https://corporate.exxonmobil.com/News/Newsroom/News-releases/2021/1029_ExxonMobil-earns-6.8-billion-in-third-quarter-2021

Shell:

<https://www.shell.com/investors/results-and-reporting/quarterly-results/2021/q3-2021.html>

bp:

<https://www.bp.com/en/global/corporate/news-and-insights/press-releases/third-quarter-2021>

[-results.html](#)

TotalEnergies :

<https://totalenergies.com/media/news/press-releases/third-quarter-2021-results>

Chevron :

<https://www.chevron.com/stories/chevron-announces-third-quarter-2021-results>

SaudiAramco:

<https://www.aramco.com/en/news-media/news/2021/aramco-announces-third-quarter-2021-results>

ENEOS ホールディングス :

<https://www.hd.eneos.co.jp/ir/library/statement/>

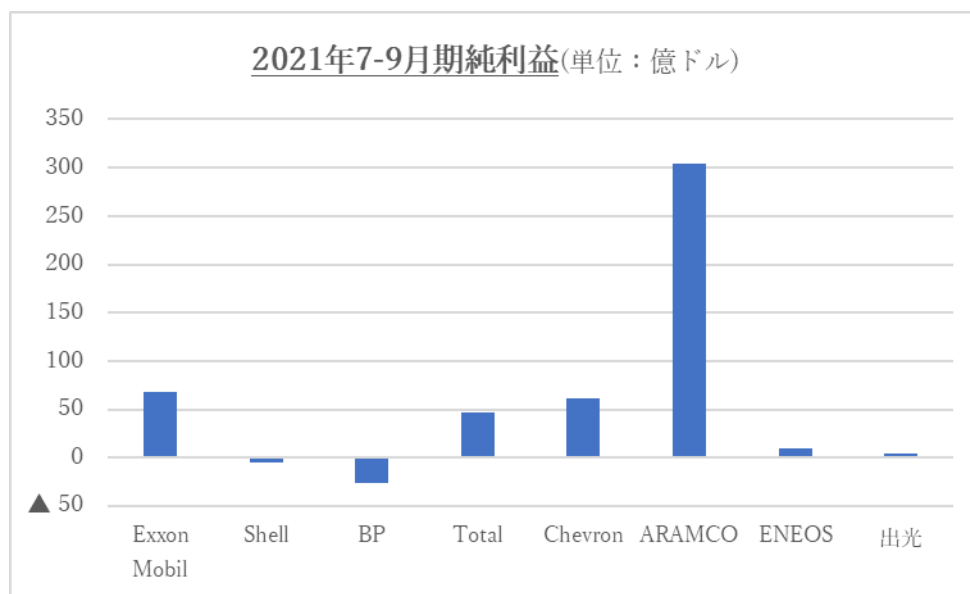
出光興産 :

<https://www.idemitsu.com/jp/content/100037887.pdf>

(メジャー5社中2社は赤字、日系2社は黒字、圧倒的なアラムコの収益力！)

1. 純利益²

(1) 当期利益

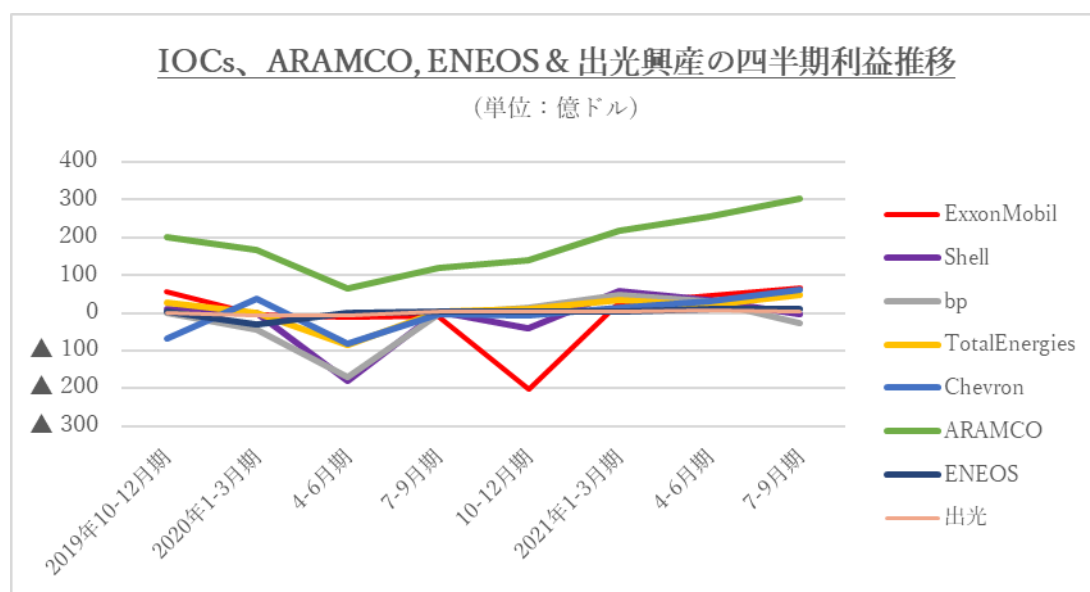


今期はメジャー5社のうち2社が赤字であったが、これに対して邦系2社はいずれも利益を計上している。即ち ExxonMobil、Chevron 及び Total はそれぞれ68億ドル、61億ドル及び46億ドルの黒字であり、残るbpと Shell はそれぞれ▲25億ドル及び▲4億ドルの赤字であった。これに対してENEOSは10億ドル、出光も5億ドルの利益を計上している。

アラムコの利益は304億ドルに達し、民間7社に比べて圧倒的な収益力を誇っている。ちなみに民間企業で利益の高かったExxonMobil、Chevronですら、アラムコの5分の1であり、ENEOSあるいは出光の場合、アラムコの利益を100とすればENEOSは3、出光は2にとどまっている。

(昨年は未曾有の苦境、一方、アラムコは2020年4-6月以降増益の一途！)

(2)2019年10-12月期以降今期までの推移



ここでは過去2年間、すなわちコロナ禍発生以前の2019年10—12月期から今期(2021年7—9月期)までの利益の推移を追ってみる。2019年10-12月期は ExxonMobil が57億ドルの利益を計上、TotalEnergies、bp、ENEOS、出光の6社は黒字でありChevronのみが▲66億ドルの赤字であった。この時アラムコはExxonMobilの4倍近い200億ドルの利益を計上している。

しかし2020年に入るとコロナ禍により世界景気が急落しエネルギー需要も激減したためアラムコを除く各社の業績は大幅に悪化、1-3月期にはbpの▲44億ドルの欠損をはじめ Chevron及びTotalEnergiesを除く5社が赤字決算となった。ENEOSの赤字▲29億ドルでbpに次ぐ額であった。そして4-6月期は7社全社が赤字であり、その赤字額は Shellの▲181億ドルを筆頭に、bp▲168億ドル、Total▲84億ドル、Chevron▲83億ドル、ExxonMobil▲11億ドル、出光▲8億ドル、ENEOS▲5千万ドルであった。

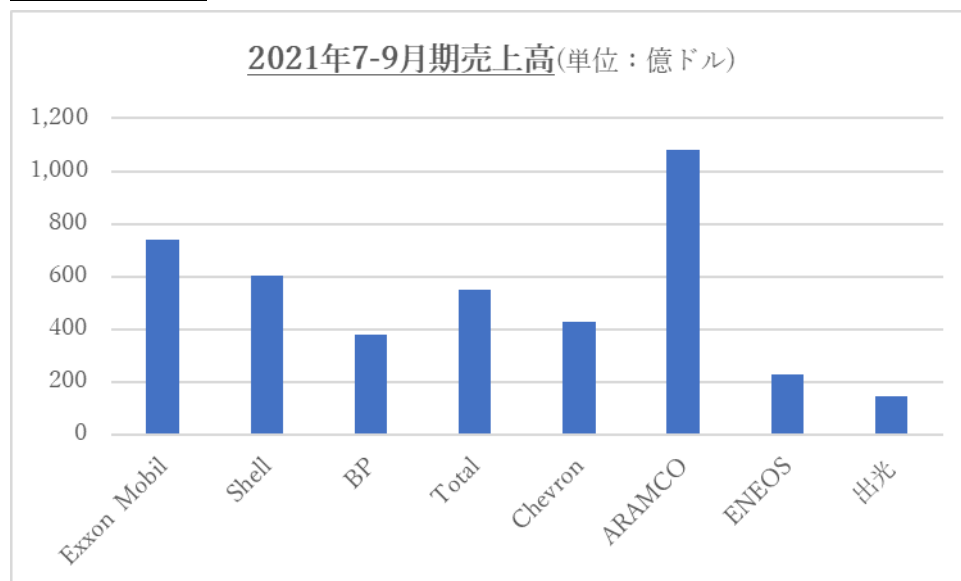
この時比較的傷の浅かったExxonMobilも10-12月期には▲201億ドルの赤字を計上、2020年はアラムコを除き各社とも最悪の決算となった。一方アラムコは4-6月期こそ66億ドルの利益にとどまったものの、その後は再び四半期ベースで100億ドルを超える利益を確保、今期(2021年7-9月期)の利益は過去2年間で最高の304億ドルを記録している。

民間7社は今年に入り業績が急回復し、1-3月期及び4-6月期は全社がプラスであった。7-9月期はIOCのうちExxonMobil、Chevronが60億ドル台の利益を計上、TotalEnergiesも46億ドルのプラスであった。またこれらIOC3社には及ばないものの日系2社もENEOS(10億ドル)、出光(5億ドル)の利益を計上している。そのような中でbpとShellの英蘭系2社はマイナスとなり明暗が分かれた。

(ENEOS 売上高はアラムコの2割、ExxonMobil の3割！)

2. 売上高³

(1) 当期売上高

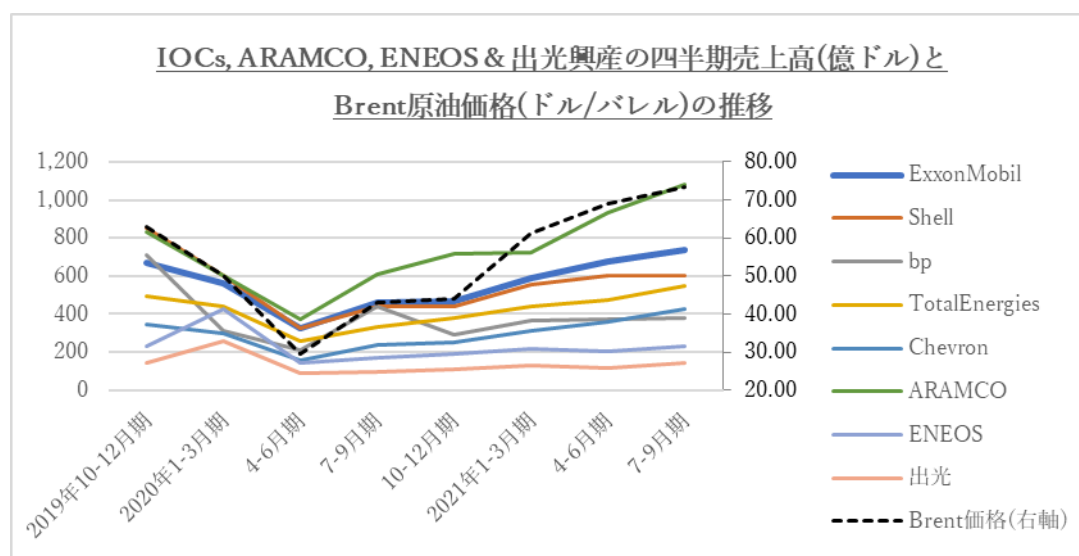


2021年7-9月期の ENEOS の売上高は2兆5,073億円、出光は1兆5,647億円であった。これをENEOSは1ドル=110円、出光は1ドル=109.8円で換算すると(換算レートは各社の決算説明資料から引用、以下同様)、ENEOSは228億ドル、出光は143億ドルとなる。

これに対してアラムコの同期間の売上高は1,081億ドルであり、またIOC5社のそれは最も多いExxonMobilが738億ドル、ついでShell 600億ドル、TotalEnergies 547億ドル、Chevron 426億ドル、bp 379億ドルである。ENEOSはアラムコの2割、ExxonMobilの3割である。出光は比較した中では売上高が最も少なく、アラムコの1割強、ExxonMobilの2割弱である。

(原油価格に忠実なアラムコとIOC各社、売り上げの伸びが小さい日系2社！)

(2) 2019年10-12月期以降今期までの推移



2019年10-12月期から今期(2021年7-9月期)までの売上高の推移を見ると、2019年第4

四半期の売上高は851億ドルの Shell を筆頭に、アラムコが833億ドル、bp711億ドル、ExxonMobil672億ドルと続き、TotalEnergiesは493億ドル、Chevronが346億ドルであった。これに対して日系2社は ENEOS 233億ドル、出光144億ドルであった。

その後、2020年第1四半期から第2四半期にかけて各社とも売上高が急激に減少した。特に第2四半期は新型コロナ禍の影響で経済活動が大きく減速し、各社は販売価格及び販売量の両面で過去2年間では最も厳しい売上の減少を強いられた。この期のアラムコの売上高は370億ドル、ExxonMobil、Shell が330億ドルであり、以下 TotalEnergies260億ドル、bp210億ドル、Chevron160億ドル、ENEOS140億ドル、出光90億ドルであった。2019年10－12月期を100とした場合、最も減少幅が小さかったのは出光の64であり、大半の企業は2分の1以下に落ち込みbpは3割未満にとどまっている。

その後、bp、ENEOS及び出光3社の売上回復の足並みは遅い。その他各社の売上は多少のばらつきはあるものの5期連続して増収となり、今期(2021年7－9月期)はアラムコ、ExxonMobil、TotalEnergies及びChevronは2019年10－12月期を超えている。特にアラムコの売上高は2年前の1.3倍に増加、1千億ドルを超える状況である。

売上高の変動に大きな影響を与えるのが原油価格であるが、代表的な油種であるBrent原油の各四半期の平均価格を見ると以下の通りであった(価格はドル/バレル)。

63.08ドル(‘19年10-12月期)→50.06ドル(‘20年1-3月期、前期比▲20.6%)→29.55ドル(‘20年4-6月期、前期比▲41.0%)→42.94ドル(‘20年7-9月期、前期比+45.3%)→44.16ドル(‘19年10-12月期、前期比+2.8%)→61.12ドル(‘20年1-3月期、前期比+38.4%)→68.97ドル(‘21年4-6月期、前期比+12.80%)→73.51ドル(‘21年7-9月期、前期比+6.6%)

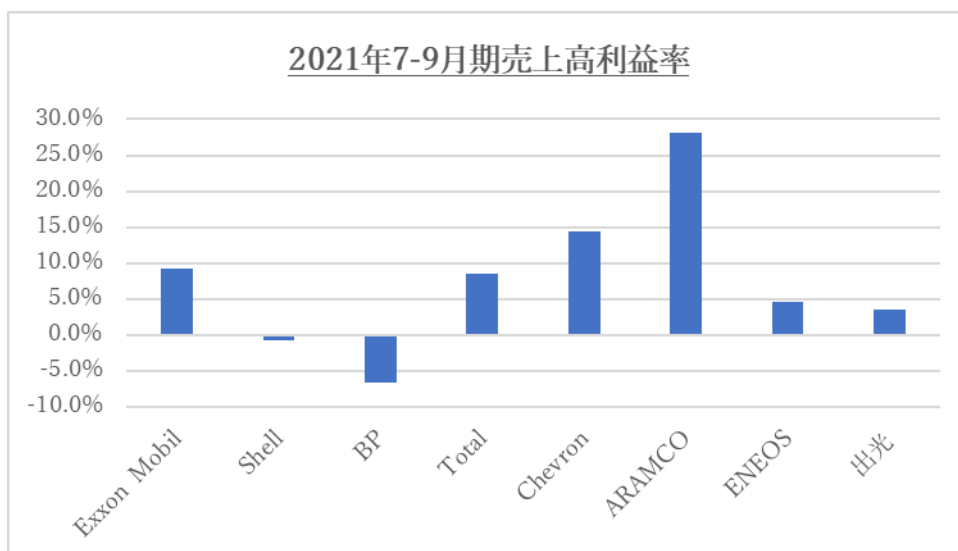
これに対してIOC5社の対前期比売上高の平均増減比率は、▲25.5%(‘20年1-3月期)→▲41.6%(‘20年4-6月期)→+53.9%(‘20年7-9月期)→▲2.9%(‘19年10-12月期)→+23.5%(‘21年1-3月期)→+10.0%(‘21年4-6月期)→+8.6%(‘21年7-9月期)であった。両者を比較すると全期間を通じて売上高と原油価格との相関関係が極めて高いことがわかる。

(30%近い利益率を誇るアラムコ、Chevronは二桁14%!)

3. 売上高利益率

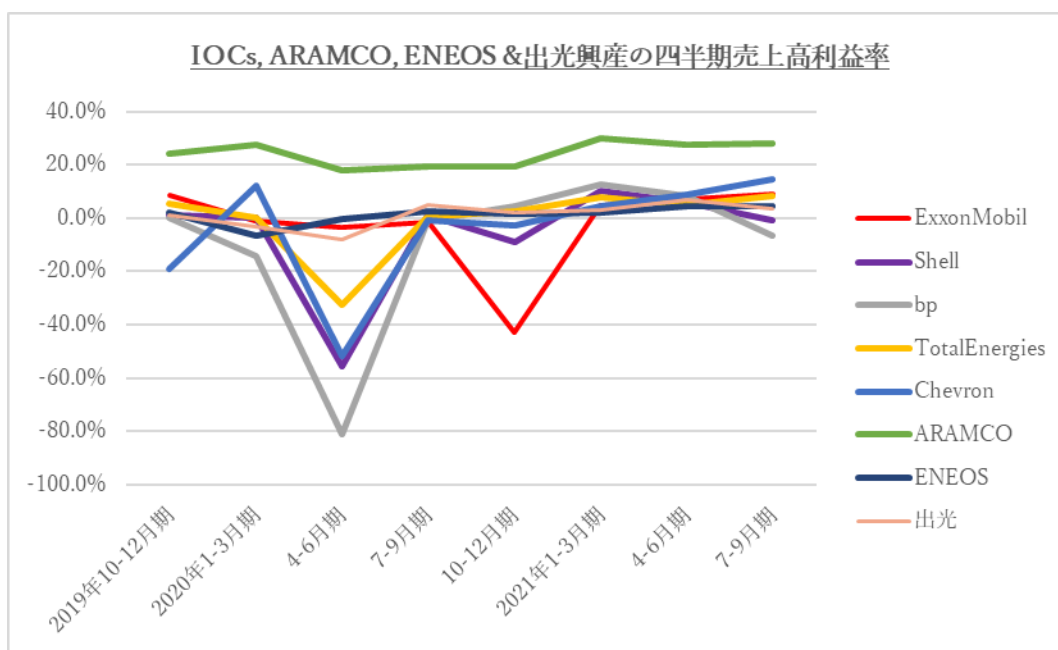
(1) 当期売上高利益率 (図 <http://menadabase.maeda1.jp/2-D-5-13.pdf> 参照)

売上高利益率を比べてみると、bp(▲6.7%)とShell(▲0.7%)がマイナスで、その他6社の利益率はプラスである。アラムコの利益率は28%であり、これに次ぐChevronの14.4%と比べても極めて利益率が高い。ExxonMobil及びTotalEnergiesの利益率は9%前後であり、コロナ禍以前の水準に戻っている。また日系企業はENEOS4.5%、出光3.5%と安定していると言えよう。



(損失率▲50%以上が続出した悪夢の2020年！)

(2) 2019年10－12月期以降今期までの推移



2019年10－12月期から今期(2021年7－9月期)までのIOC5社の売上高利益率の推移を見ると、2020年は各社とも大幅な下振れを経験しており悪夢の一年間であったと言えます。

2019年10－12月期の売上高利益率はアラムコの24%を別格として、ExxonMobilが8.5%と最も高く、Chevronは8社中でただ一社▲19.1%の大幅なマイナスであった。2020年に入るとまず1－3月期にbp及びExxonMobilがマイナス損失率に転落、4－6月期には日系2社を含め7社がマイナスとなり、さすがのアラムコも利益率は18%に落ち込んだ。同期の損失率はbp▲81%、Shell▲56%、Chevron▲52%と記録的な低さであった。

このとき出光、ExxonMobil及びENEOSもそれぞれ▲8.3%、▲3.3%、▲0.3%であったが

日系2社はその後今期までプラスが続いており、比較的安定した利益率を示している。一方、ExxonMobilは10-12月期には▲43%の大幅なマイナスを記録するなどIOC各社いずれも厳しい決算を余儀なくされた。

2021年に入り各社とも業績が回復、1-3月期は全社の利益率がプラスとなり、この傾向は4-6月期も続いた。但し7-9月期にはExxonMobil、Chevron及びTotalEnergies3社の利益率がさらに改善した一方、bp及びShellはプラスからマイナスに転じており、明暗が分かれた。このような中でアラムコは昨年後半以降再び利益率が好転、今年に入ると每期30%近くの極めて高い利益率を示している。

以上

本稿に関するコメント、ご意見をお聞かせください。

前田 高行 〒183-0027 東京都府中市本町 2-31-13-601
Tel/Fax; 042-360-1284, 携帯; 090-9157-3642
E-mail; maeda1@jcom.home.ne.jp

¹ 「黒字の米系+仏系 3 社、赤字の英蘭系 2 社 : 2021 年 7-9 月期五大国際石油企業決算速報」参照。 <http://mylibrary.maeda1.jp/0548OilMajor2021-3rdQtr.pdf>

² 「純利益」は各社資料から下記項目を抽出した。

ExxonMobil: Net income attributable to ExxonMobil (U.S. GAAP)

Shell: Incom/loss attributable to shareholders

bp: Profit (loss) for the period; Attributable to BP shareholders

TotalEnergies: Net income (TotalEnergies share)

Chevron: Net income

SaudiAramco: Net income by consolidated financial statement q3 interim report

ENEOS: 親会社の所有者に帰属する四半期純利益、為替換算レートは決算説明資料による。

出光: 親会社株主に帰属する四半期純利益、為替換算レートは決算説明資料による。

³ 「売上高」は各社資料から下記項目を抽出した。

ExxonMobil: Total revenues and other income

Shell: Total revenue and other income

bp: Total revenue and other income

TotalEnergies: Sales

Chevron: Sales and other operating revenues

ENEOS: 売上高

出光: 売上高